

種数 2 のリーマン面の正則族の正則切断について

能城 敏博 (大阪市立大学)

19/03/09

アブストラクト:

(今吉洋一教授、小森洋平准教授との共同研究) 関数体上の Mordell 予想が、Manin や Grauert により証明されたことにより、種数 ≥ 2 のリーマン面の正則族において、その正則切断の個数は有限であることが分かった。次の問題は、その個数の評価である。Gonzalo Riera によって構成された種数 2 のリーマン面の正則族を考える。この講演では、この族の切断の個数の評価を目標とする。